

卒業後の豊かな生活や生涯学習の支援

〔計画のポイント〕

学校卒業後、障害のある人がいつでも、どこでも、それぞれの目的に応じた学習に参加し豊かな生活を過ごすことができるよう、学びの機会と場の充実を目指します。

今後、特別支援学校は学校開放講座等の一層の充実を図り、地域の生涯学習機関と連携しながら、その機能の一部を担います。

地域の教育機関、生涯学習機関さらに企業やNPO等が連携した、生涯学習支援ネットワークの構築を目指します。

1 卒業後の豊かな生活を支えるための学びの機会と場の充実

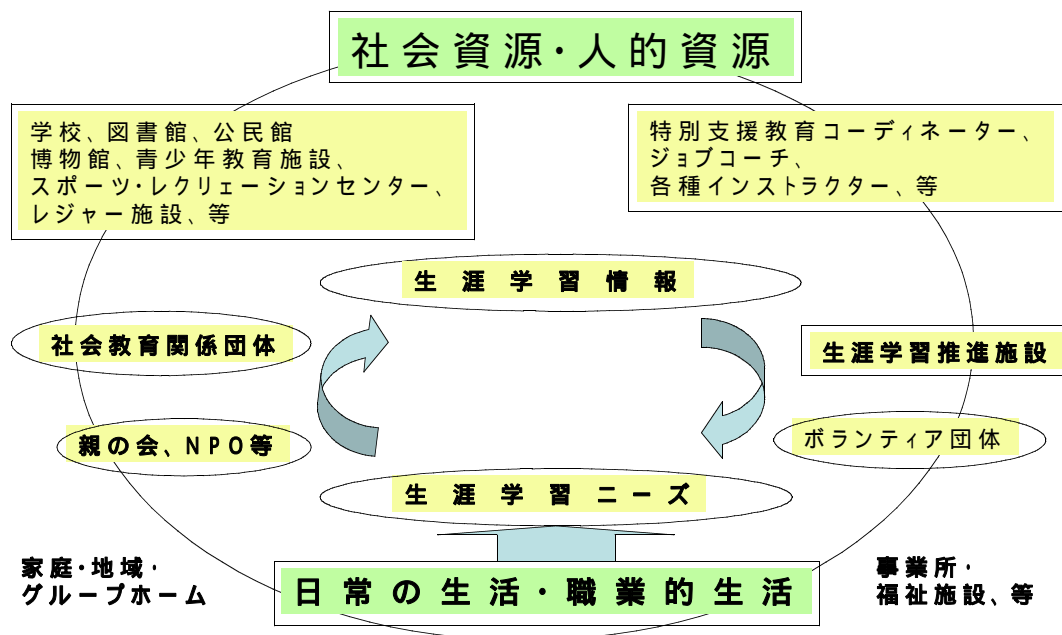
障害のある人が、いつでも、どこでも、それぞれの目的や志向に応じた学習に参加し豊かな生活を過ごすことができるよう、学びの機会と場の充実を目指します。特に、学習の成果を社会の中で生かし、地域の人々との交流を行える機会や場づくりを目指します。

2 社会資源としての特別支援学校の機能の充実

卒業生や地域の障害のある人の生涯学習が充実したものになるよう、特別支援学校は「生涯学習支援ネットワーク」の一員として、その専門性や施設・設備を生かした社会資源としての機能を果たします。

3 関係機関による生涯学習支援ネットワークの構築

障害のある人の生涯学習ニーズを把握して、適切な生涯学習情報を提供できるよう、地域の学校、施設、事業所、障害者就業支援キャリアセンター、NPO等関係機関が連携した「生涯学習支援ネットワーク」を構築し、ハード・ソフト両面から生涯学習の充実を目指します。



(図 6) 生涯学習支援ネットワーク〔 ジョブコーチ^{*1}、グループホーム^{*2} は脚注参照 〕

*1 ジョブコーチ 就職又は職場への定着に際して課題がある障害者に対して、職場で安定して働くことができるよう、事業所に一定期間派遣され、障害者本人、家族や事業者に対して支援を行う援助者のこと。

*2 グループホーム 地域社会の中にある住宅（アパート、マンション、一戸建て等）において、数人の障害者等が一定の経済的負担を負って共同生活をする形態。同居あるいは近隣に居住している専任の世話人により食事の提供、相談その他の日常生活援助が行われる。